

令和 4 年度 墨田区立文花中学校 経営計画書

校長名 稲垣吉実

学校目標	『チーム文花中として、文武両道を実践し 社会に貢献できる生徒、生徒の自主性を伸ばす学校』を目指す。
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる」「楽しい」「できる」が実感でき、生徒の自主的な学習意欲を育む学校</li> <li>・ICT機器や一人一台のタブレット端末を効果的に活用したICT教育を推進する学校</li> <li>・人権を尊重し、夜間学級との交流等、異文化理解を積極的に推進する学校</li> <li>・チーム文花中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校</li> </ul>
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の授業を大切にし、自ら計画し、進んで学びに向かう生徒</li> <li>・人権を尊重し、思いやりをもって互いに協力しあい、自他を大切にする生徒</li> <li>・規範意識を身につけ、責任を果たし、社会に貢献できる生徒</li> <li>・文武両道の精神を持ち、心身共に健康で何事にも粘り強く取り組む生徒</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対する教育的愛情と、教職に対する情熱と使命感を持っている教師</li> <li>・豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている教師</li> <li>・高い「授業力」をもち、生徒に確かな学力をつけることができる教師</li> <li>・社会的良識と自ら学ぶ意欲を持ち、組織人としての責任感、協調性を有する教師</li> </ul>

項目	取組目標	取組指標	成果指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。	<p>○研究協力校2年目として、学力向上兼研究推進委員会を中心に「学びに向かう力の育成」～「自己肯定感を高める取組」「分かる授業」を通して～をテーマに研究を行い組織として効果的な授業や取組を行う。</p> <p>○一人一台のタブレットやICT機器を活用した授業を積極的に行い、生徒の興味・関心や、理解度を高め、授業力向上に繋げる</p> <p>○国・数・英の基礎学力コンテストを7月12月1月に計画的に実施して、基礎・基本の定着を図り、自信を持たせる。</p> <p>○端末ドリルや学習支援アプリを活用し、毎日の家庭学習を通して、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○4月～6月、1月～3月のふりかえり学習期間において、5教科のふり返り学習を、学力向上委員会を中心に計画的に行い学力の定着に繋げる。</p> <p>○英検、数検、漢検の各種検定を奨励する。</p>	<p>○全ての授業において本校作成の「分かる」実践集を活用する。2年間の研究を通し、授業力向上に努める。生徒の授業評価において、全教員のわかりやすい授業の肯定的回答を85%以上にする。</p> <p>○年3回のタブレットの日には全教科でタブレットを使用する。特色ある教育活動に取り組んでいる保護者アンケートで90%以上の肯定的回答にする。</p> <p>○朝学習の取り組み期間を徹底して、80点以上の合格者を90%以上にする。</p> <p>○墨田区学習状況調査の家庭での学習時間の増加および休日の学習時間0時間の減少。</p> <p>○区の学力調査において全国平均正答率との差を-5ポイント以内を目指す。</p> <p>○各検定試験の受験者数や合格数を1割増やす。トリプル3の特別表彰者の10人以上にする。</p>
	特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行う。	<p>○特別支援委員会による個別指導計画の作成・実施・評価・改善を行う。</p> <p>○巡回心理士の授業観察や校内研修を通して特別支援教育について教職員の理解を深め、支援の必要な生徒に教育的対応を行う。</p>	<p>○年5回の校内委員会開催とピックアップシートと学校生活支援シートの作成する。</p> <p>○生徒意識調査において、先生は生徒のことをよく理解している項目で90%以上の肯定的回答とする。</p>

様式 2

	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	○発達段階に応じて1年では、地域人材を活用した職業調べ、2年では職場体験や上級学校調べ、3年では上級学校訪問や卒業後の進路学習と進路相談を充実させる。	○進路や職業など、自分の将来について真剣に考えている意識アンケート項目で70%以上の肯定的回答とする。
	教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	○指導力・授業力を高めるため、授業研究研修会を2教科(数学、体育)で実施する。また、自己肯定感を高める授業改善シートを活用し、教員相互の授業観察期間(2週間×3回)を設ける。 ○年1回の主任教諭による若手教員向け研修会を実施し、主任教諭による若手教員へのOJTの推進する。 ○指導教諭の模範授業を活用した各教科での還元研修を実施する。	○生徒アンケート項目の授業には意欲をもって取り組んでいる項目において90%以上の肯定的回答とする。  ○困ったときに相談できる先生がいる項目で70%以上の肯定的回答とする。
生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。	○生徒理解を図るための校内組織の確立を図るため、生活指導連絡会を毎週実施する。また、いじめアンケートを毎月1回とり、いじめ問題の未然防止及び早期発見に努める。 ○教育相談・三者面談の実施して生徒理解を深め、学級内の心理的安全性を確保して、不登校の生徒を減らしていく。	○生徒アンケートによるいじめなどの問題が少ない項目で肯定的評価90%以上、保護者のいじめや問題行動がない学校づくりに取り組んでいる項目で90%以上の肯定的回答とする。 ○保護者の子どもの心のケアに取り組んでいる項目で90%以上の肯定的回答とする。
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	○生徒会活動と連動した取組の充実と基本的な生活習慣の確立のため、あいさつの励行、時間厳守を中心とした全校・学年・学級の取組を行う。 ○各行事における協働の中から学ぶ、思いやりと支え合いの取組(実行委員会等)を充実させて、良好な人間関係づくりと能力を伸長させる。	○生徒アンケートによる各委員会活動や係活動に積極的に取り組んでいる項目で90%以上の肯定的回答。  ○保護者、生徒の学級活動や行事についての意見で、肯定的内見を90%以上とする。
	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	○セーフティ教室・交通安全教室・情報モラル等の教室を実施する。 ○防災教育の充実を図る。	○全校を対象とした交通安全・薬物乱用防止、携帯安全教室・路上生活者問題等の外部講師を招いた教室の実施。  ○3年間の防災教育の実施。 ○初級救命救急ライセンスの取得(1・2年生)。 ○Jrレスキュー隊の上級救命救急ライセンスの取得と地域防災訓練での活動を行う。
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	○企画会、運営委員会の定期的な実施とライン化の強化。 ○地域行事、地域外部講師等を積極的に活用した教育活動の実施。	○生徒・保護者からの意見に対する対応とアンケートによる肯定的評価90% ○学校運営連絡協議会の学校評価A。
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	○生徒の実態を把握し、保護者や地域の意見を取り入れたチーム文花中としての教育目標の設定を行う。	○保護者からの意見に対する対応とアンケートによる肯定的評価90%以上とする。

## 様式 2

		○自信と誇りを持った生徒の育成に当たり、教育目標や教育活動が適切に実施できているかの評価を実施。	○生徒、保護者の良い学校だと思う項目で 90%以上の肯定的回答とする。
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	○ICT 環境を含めた教育環境の整備と充実を図る。  ○教育環境を点検し、充実した教育活動のための環境の改善に努める。	○生徒・保護者からの意見に対する対応とアンケートによる肯定的評価 90%  ○生徒・保護者からの意見に対する対応と教職員による点検と改善。
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	○学校だより、学年だよりの発行による教育活動の啓発。  ○学校情報メールや学校ホームページの更新と改善による啓発。	○年 10 回の学校だよりの発行と年 30 回の学年だよりの発行をする。  ○年 30 回以上のホームページの更新を行う。 ○外部評価、学校関係者による評価 A。
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	○地域清掃の実施。  ○育成委員会と協働して、地域ふれあい祭り、地域音楽祭、地域行事等への参加と推進を図る。	○生徒会が主催する地域ボランティア清掃の実施（月 1 回）。 ○地域行事に積極的に参加している意識調査項目で 40%以上の肯定的回答を得る。

※ 表については、必要に応じて 2 ページ以上にわたるように加工する。